



小さな 赤い 魚たち

教務主任 村松 明久

記録的な短さで梅雨が明け、あっという間に夏がやってきた感じでした。校庭で1年生が育てている朝顔がすくすくと成長し、つるを伸ばしています。その横を、元気に駆け回る子どもたちの汗がキラキラと輝いています。

6月14・15日に、5年生が富士宿泊体験学習に行ってきました。1日目は寒沢の源流を訪ねる沢登りや、YMCA東山荘の中でのウォークラリー、2日目はショートコースで「ふじさんぼ」を行ったそうです。皆自分のめあてに向かってよく頑張っていたと、引率者の声を聞きました。私は、5年生が到着するバスを迎えに行ったのですが、バスから降りてくる子どもたちの顔がちょっと疲れてはいるものの、皆が活動を楽しんできたという笑顔でいっぱいだったのが印象的でした。

さて、2年生の国語で、「スイミー」(レオ＝レオニ作)という教材文があります。赤い色をしたきょうだいたちの中で、唯一黒い魚の物語。教科書に掲載されていることで、多くの方がご存じかと思います。

物語の後半、みんなで大きな魚のふりをする場面で、次のような文章が出てきます。

『スイミーは 教えた。

けっして、はなればなれに ならない こと。

みんな、もちばを まもる こと。』

私は、スイミーだけでなく、小さな赤い魚たちがすごいなと感心してしまいます。自分たちの居場所を守るという目標に向かって、みんなで力を合わせて協力する。そのときに『はなればなれにならないこと』『もちばをまもること』が必要だと書かれています。とても大切なことを説いているように私は感じます。

子どもたちは、学校生活のいろいろな場面で、様々な人と関わり合いながら学んだり、活動したりしています。子どもたちだけでなく、私たち教職員もまた、多くの人たちとの協力の中でよりよい学校づくりをめざしています。私も、自分の「もちば」(役割)を意識しながら、人と人をつなぎ、協力して学校づくりに携わっていきたくと考えています。

暑さが厳しくなってきました。これからは、感染症対策だけでなく熱中症にも気をつけながら、引き続き子どもたちにとって安全でよりよい教育活動を進めていきます。今月も、どうぞよろしくお願いいたします。

5・6月の教育活動の様子



6年生 よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト校内選考会 5月26日(木)

6年生の子どもたち一人ひとりが、「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマとして、クラスでスピーチしました。各クラスの代表者6名を選抜し、校内選考会を行いました。本日、6月29日(水)に「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の瀬谷区審査会が行われ、本校からも代表児童が参加します。自分の考えを、思いをもって伝えてほしいです。

第45回 PTAたこあげ大会 5月28日(土)

大門小PTA主催で、行われました。心地よい風が吹く中、本郷公園には、たくさん子どもたちや保護者の皆さんが集まりました。感染症対策のために、子どもたちは事前にビニール凧に好きな絵を描き、PTAの委員とPTAボランティアの皆さんが骨組みを付けて仕上げてくださいました。空には、色とりどりの凧があがり、子どもたちは楽しむことができました。地域の方にもたくさんご協力いただきました。



2年生 まち探検

生活科の学習で、学区内の公園をめぐり、お気に入り探しをしました。いろいろな遊具を体験したり友達と遊んだりすることを通して、それぞれの公園のよさに気がきました。道の歩き方や公園でのマナーについても、気を付けて活動しました。

避難訓練(水害) 6月10日(金)

大雨洪水警報の発令を想定して訓練を行いました。境川の水位上昇の危険を考え、校舎や施設が浸水などの大きな被害を受ける前に、全校児童が3階以上の階への避難(垂直避難)を行うことを想定しました。子どもたちは真剣な表情で行動し、速やかに避難することができました。



4年生 出前水道教室 6月14日(火)

社会科学習の一環として、水道局三ツ境事務所による出前授業を行いました。「緑のダム」のはたらきや浄水場で行っているろ過や消毒について、実験などを通して教えていただきました。子どもたちは、「いつも使っている水は、たくさんの手間がかかっていること」や「水道の水がとどくまでに、とっても時間や費用がかかっていたり、水道局の人の努力があったりすること」が分かったようです。これから水を大切に使うことや水道の仕事をしている人への感謝を振り返っていました。

新体力テスト 6月21日(火)~24日(金)

天候が心配されましたが、無事に新体力テストを行うことができました。記録に一生懸命挑戦したり、結果からどんなことが得意なのかを考えたりしました。

1・2年生が実施するときには、5・6年生がサポートをして、スムーズに行うことができました。



5年生 富士宿泊体験学習 6月14日(火)、15日(水)

1日目の午前中は、岩を登ったり、丸太を渡ったりして寒沢の源流を見に行きました。午後は宿泊施設内でウォークラリーをしたり、クラスでレクリエーションをしたりして、友達との絆を深めました。

2日目のふじさんぼは、YMCAの指導員さんの指導を受け、自然の美しさを感じながら、みんなで一生懸命登りました。下りの砂走りでは自分のペースで山を下ることを楽しみました。

両日とも小雨の降る中でしたが、雨天ならではの自然や活動を楽しみながら、今回の目標の「協力」を意識して頑張ろうとする姿がたくさん見られました。予定していた活動をやり抜き、楽しんだ子どもたちの顔は清々しく、一人ひとりが、さらには学年全体としても成長することができた体験学習となりました。



学校協力者懇話会 6月4日(土)

学校協力者の皆様にお集まりいただき、本年度の教育活動の取組について説明し、ご意見をいただきました。

話題として挙げたこと

- ・大門サポーターの活動は、昨年度までの活動を引き継ぎながら、本年度よりよい活動にしていきたい。
- ・準備が大変だったが、PTA たこあげ大会を行うことができてよかった。
- ・昨年度まで、コロナ対策のために、行事等が中止になったり、縮小されたりして残念であった。今年度は、以前のように行事が行えるとよい。
→ 学校は教育委員会の通知に従って行事等を行っています。感染症の状況等に応じて、できる範囲で、できることを行っていきたいと考えています。

児童支援専任から



登下校中の歩行の仕方や放課後の自転車の乗り方など、地域の方からお声掛けをいただくことがあります。学校では安全強化 WEEK や交通安全教室、朝会等を通して子どもたちに交通安全について呼びかけています。ご家庭でも話題にいただき、子どもたちが安全・安心して過ごせるようご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、本日、瀬谷区役所子ども家庭支援課より発行されている「こども家庭相談」のパンフレットを配付しました。お子さんの子育てで気になることがありましたら、学校カウンセラー等と併せてご活用ください。



大門小学校のESD

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



6月のふれあい農園

大門小の特色ある教育活動の一つである「農園活動」。低学年は生活科、中・高学年は総合的な学習の時間の大切な学びの場でもあります。この「農園活動」を通して、「地域に愛着をもってよりよいまちづくりに貢献していく子」や、「地産地消の大切さを理解していく子」を6年間を通して継続して育てます。

6月には、「草むしりタイム」がスタートしました。朝の時間を使い、ペア学年で畑の雑草抜きや野菜の世話に取り組んでいます。

7月には、2週間に渡り、給食に収穫した野菜を加え、皆で味わいます。子どもたちも今からとても楽しみにしています。



初物のなすを収穫しました。